

## 平成31年度 年間授業計画

## 1 学年・科目・単位数

第1学年 科学と人間生活 2単位

## 2 担当教員

## 3 教科・科目のねらい

身近な事象に関する観察、実験などを通して、科学と人間生活とのかかわりを理解させ、人間生活の科学的な見方や考え方を養う。

## 4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	生物と光 ・植物の生育と光 ・光シグナルと生物 ・ヒトの視覚と光 10時間	・光合成のしくみを理解する。 ・光合成と呼吸の関係を理解する。 ・植物の成長運動・開花の刺激としての光のはたらきを理解する。 ・眼の構造、しくみ理解する。	・科学の概念を理解できているか。 ・正確な計算ができるか。 ・身近な現象に関心を持ち、意欲的に探究する態度で授業に臨んでいるか。 ・実験結果を量的に把握・整理し、考察できるか。 ・発言、発表を意欲的にしているか。
	微生物とその利用 ・さまざまな微生物 ・微生物と人間生活のかかわり 17時間	・ ・	
2	材料とその再利用 ・金属 ・プラスチック ・資源の再利用 14時間	・金属の特徴や利用法、製法を理解する。 ・プラスチックの特徴や、見分け方を理解する。 ・3Rの概略を理解する。	
	熱の性質とその利用 ・熱とは何か ・熱と人間生活 14時間	・原子や分子の熱運動と温度との関係を理解する。 ・物質の三態などを微視的に理解する。	
3	身近な天体と太陽系における地球 ・天体が刻む「時」 ・太陽系の構造 ・太陽が動かす大気と水 15時間	・日常生活と地球の運動の関係を理解する。 ・太陽や、太陽系を構成する惑星について理解する。 ・太陽が地球にもたらすはたらきを理解する。	

## 5 使用教科書・副教材他

改訂 科学と人間生活（東京書籍 科人306）

## 6 評価方法・観点

成績算出に当たっては定期考査の素点を重視するが、平常点も加える。平常点は授業態度、意欲、発言・発表、授業ノート、小テスト、実験プリント、その他提出物、出席状況などを総合的に考慮して算出する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。